

プログラムが投稿できる UGC システムの提案

048038 河内 秀哲

(指導教員 速水 治夫 教授)

1 はじめに

インターネットは情報取得のためだけではなく、情報を公開するために使われることが多くなった。Weblogなどで利用者が自ら発信する。そのような利用者によって作られたコンテンツをUGC (User Generated Contents) といい、今では存在も珍しくはなくなった。画像や動画などを投稿できるWebサイトが増えている。

しかし、利用者が投稿できるものは、文章・画像・動画など、情報閲覧者に与える情報が変わることのない静的なコンテンツである。

そこで、本研究では動的なコンテンツとしてプログラムのソースコードを投稿できることを目的としたUGCシステムを提案する。

2 システムの概要

本研究で試作したシステムの概要を図2.1に示す。

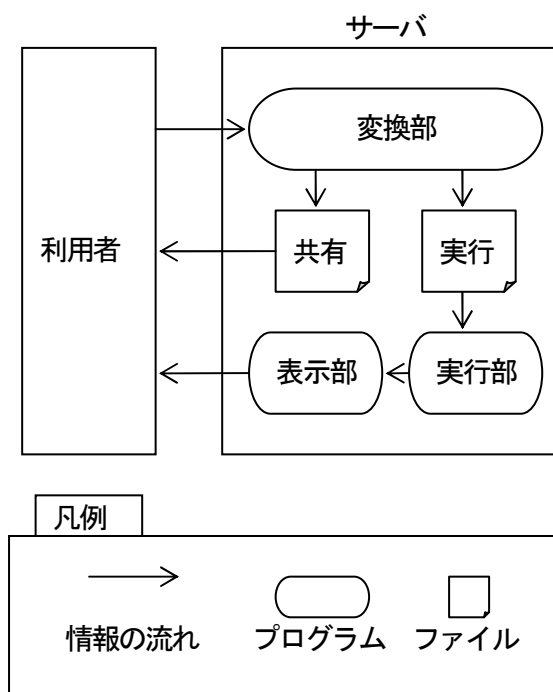


図2.1 試作したシステムの概要

本研究のシステムでは、危険性のあるソースコードの投稿を許可しないために、変換部ではソースコードのフィルタリングをしている。ソースコードを関数・文字列・変数などの項に分解し、ホワイトリ

ストと照合することで、危険性のないソースコードだけを許可している。許可されたソースコードは共有用・実行用のファイルにする。共有用ファイルを利用者が観覧できる共有機能がある。実行部では実行用ファイルを読み取り、表示部に出力を渡している。表示部ではレイアウト情報を設定することができ、実行部からの出力を一つのWebページに並べて表示することができる。

3 評価

本研究で試作したシステムをプログラム経験者5名に、本システムを利用してもらった上で5段階評価のアンケートに答えてもらった。

その結果、いずれの質問項目でも概ね評価点4以上であった。ソースコードが投稿できることがUGCとしての一つの姿であると予測できる。また、質問項目「他のUGCサイト(Weblog・BBSなど)で利用したいか」の点数が高く、プログラムを投稿できることに期待が持たれていることが解る。

表3.1 アンケートの結果(単位:人)

質問項目	1(悪)	2	3	4	5(良)
投稿機能について			1	2	2
共有機能について				3	2
表示機能について			1	2	2
既存のUGCサイトで利用したいか				3	2

4 まとめ

動的なコンテンツとして、プログラムが投稿できるシステムの提案をした。

本システムでプログラムが投稿できることを確認し、プログラム経験者に行ったアンケートでは高評価をいただいた。プログラム未経験者には敷居の高いシステムの可能性があり、今後プログラム未経験者に対する評価及び改良を行う必要がある。